

平成25年度 血液事業への取り組みについて



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

平成25年度 事業計画における重点事項

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」等の関係法令を遵守した適正かつ確実な事業運営を行い、国民の負託に応えることを使命とする。

1. 医療機関の需要に応じた献血者の確保

- 効率的な献血者の受入れ
- 若年層献血者の確保
- 献血受入体制の充実

2. 供給体制の強化

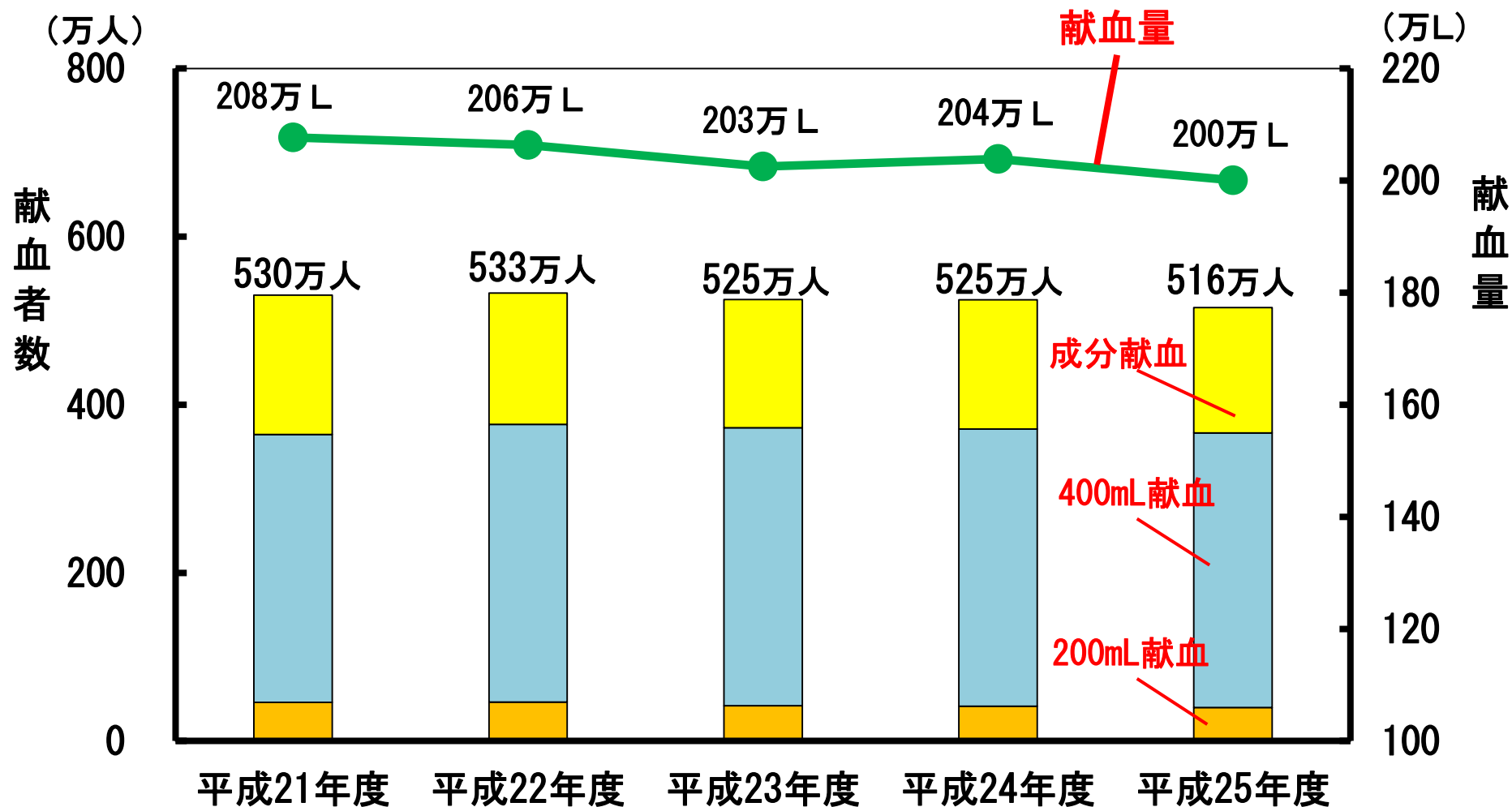
- 迅速な供給体制の構築

3. 輸血用血液製剤の安全性の向上

- 核酸増幅検査(NAT)の精度向上

1. 献血者の確保

(1) 献血者数及び献血量の実績



献血者数
対前年度比

103.2%

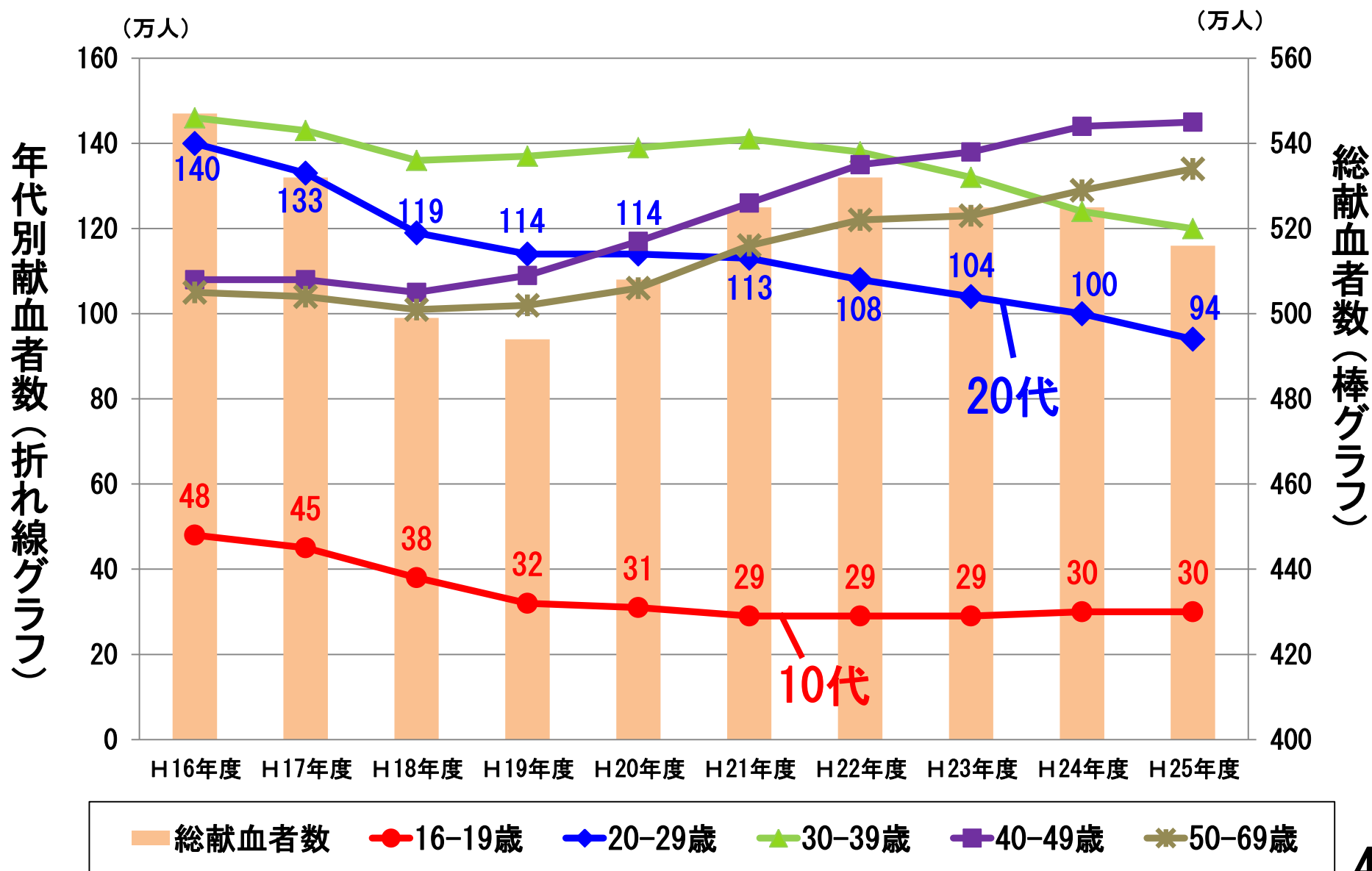
100.5%

98.5%

100.0%

98.2%

※ 年代別献血者層の推移



(2) 献血者の確保対策

① 若年層を対象とした対策

- ・SNS、ラジオ番組、若者向け雑誌等を用いた広報の実施
- ・小中学生向け「献血セミナー」・「体験学習」等の実施
- ・学生ボランティア組織との連携



血液センターにおける体験学習



全国学生献血推進代表者会議

②年齢層に応じた対策

- ・献血ルーム内キッズスペースの設置
- ・献血協賛企業への登録促進



キッズスペース

弘前献血ルーム CoCoSA(青森)

③複数回協力者の確保

- ・複数回献血クラブへの加入促進

(3) 献血環境の整備



献血ルームピース(広島)



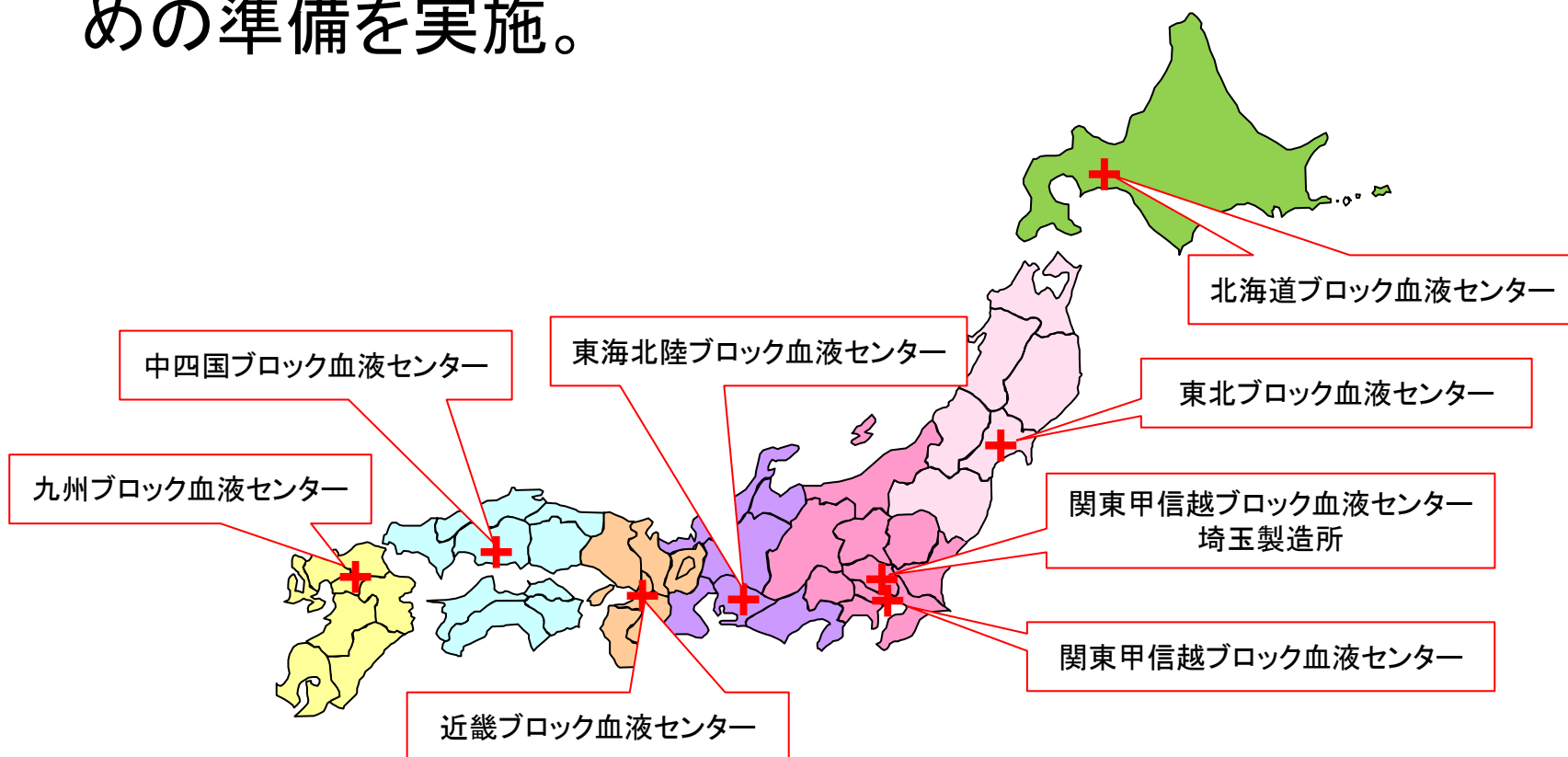
献血ルーム西海(長崎)



問診用タッチパネル

2. 安全対策

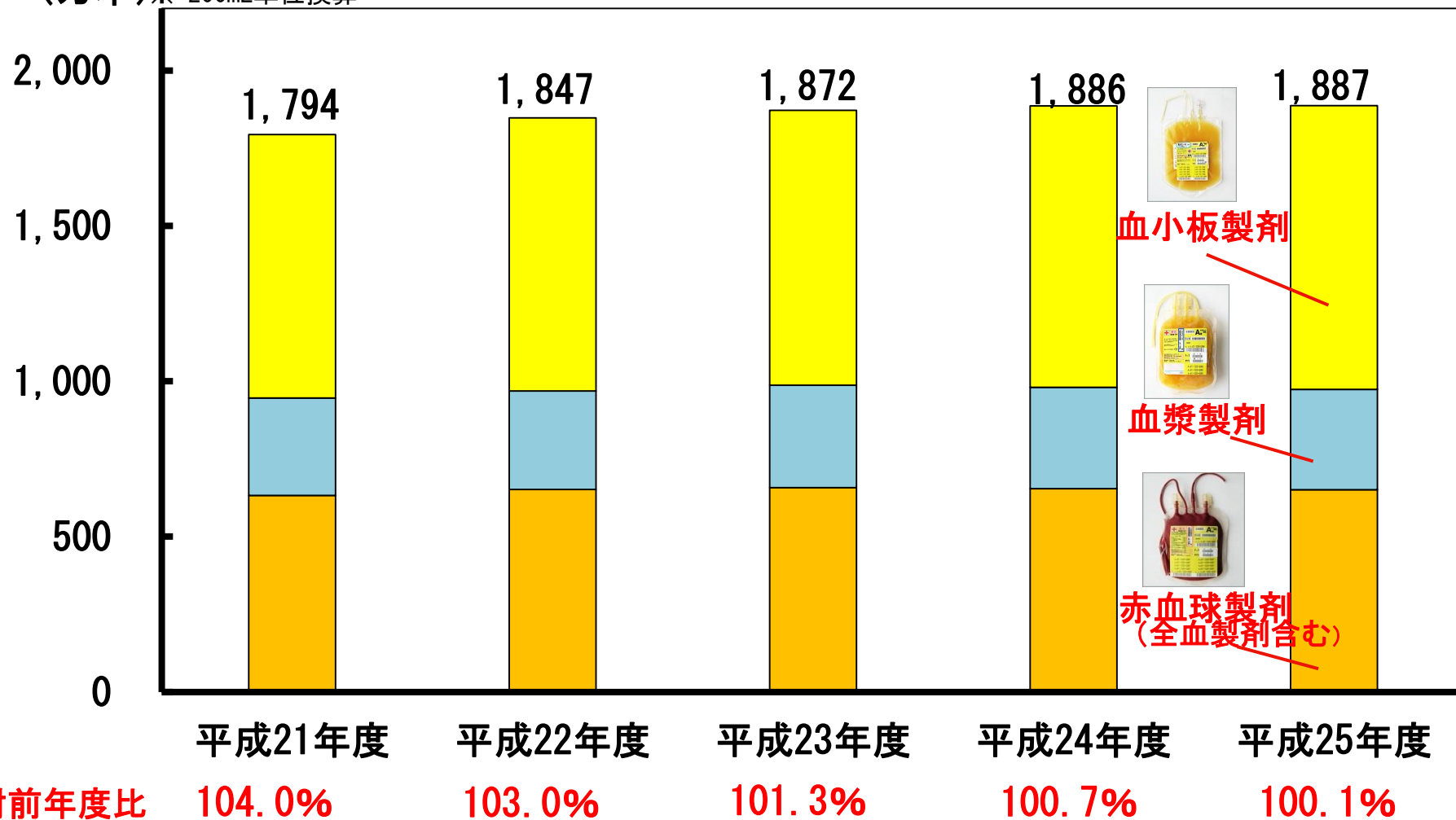
核酸増幅検査(NAT)は、これまで20検体をまとめて検査していたが、これを1検体ずつ検査することとし、平成26年8月までに新たな検査システムを全国8カ所に導入するための準備を実施。



3. 輸血用血液製剤の供給

(1). 輸血用血液製剤の供給実績

(万本)※ 200mL単位換算



(2) 供給体制の整備

○新たな施設での供給業務開始

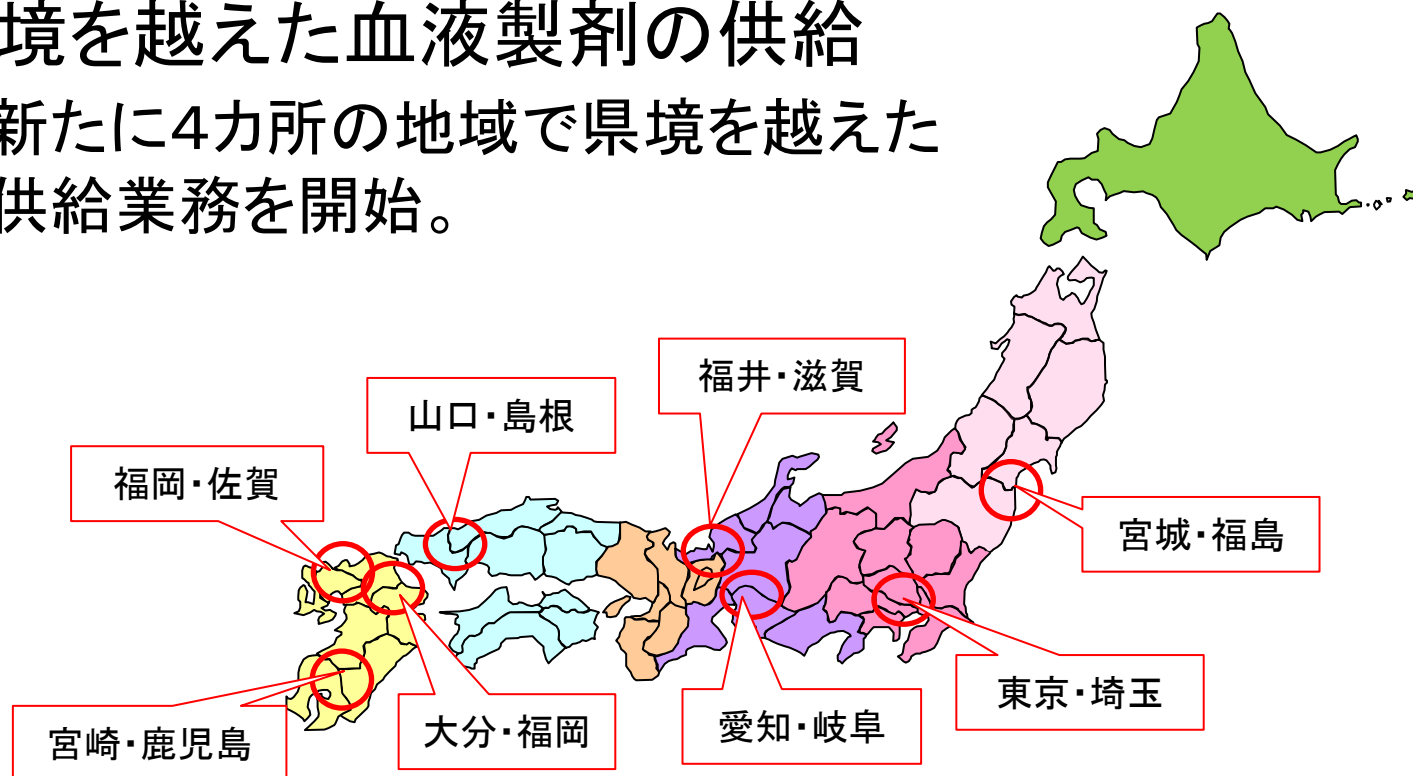
新たに設置した5カ所の供給出張所で供給業務を開始。



鴨川供給出張所(千葉)

○県境を越えた血液製剤の供給

新たに4カ所の地域で県境を越えた供給業務を開始。



県境を越えた供給の実施地域 (平成26年4月1日現在)

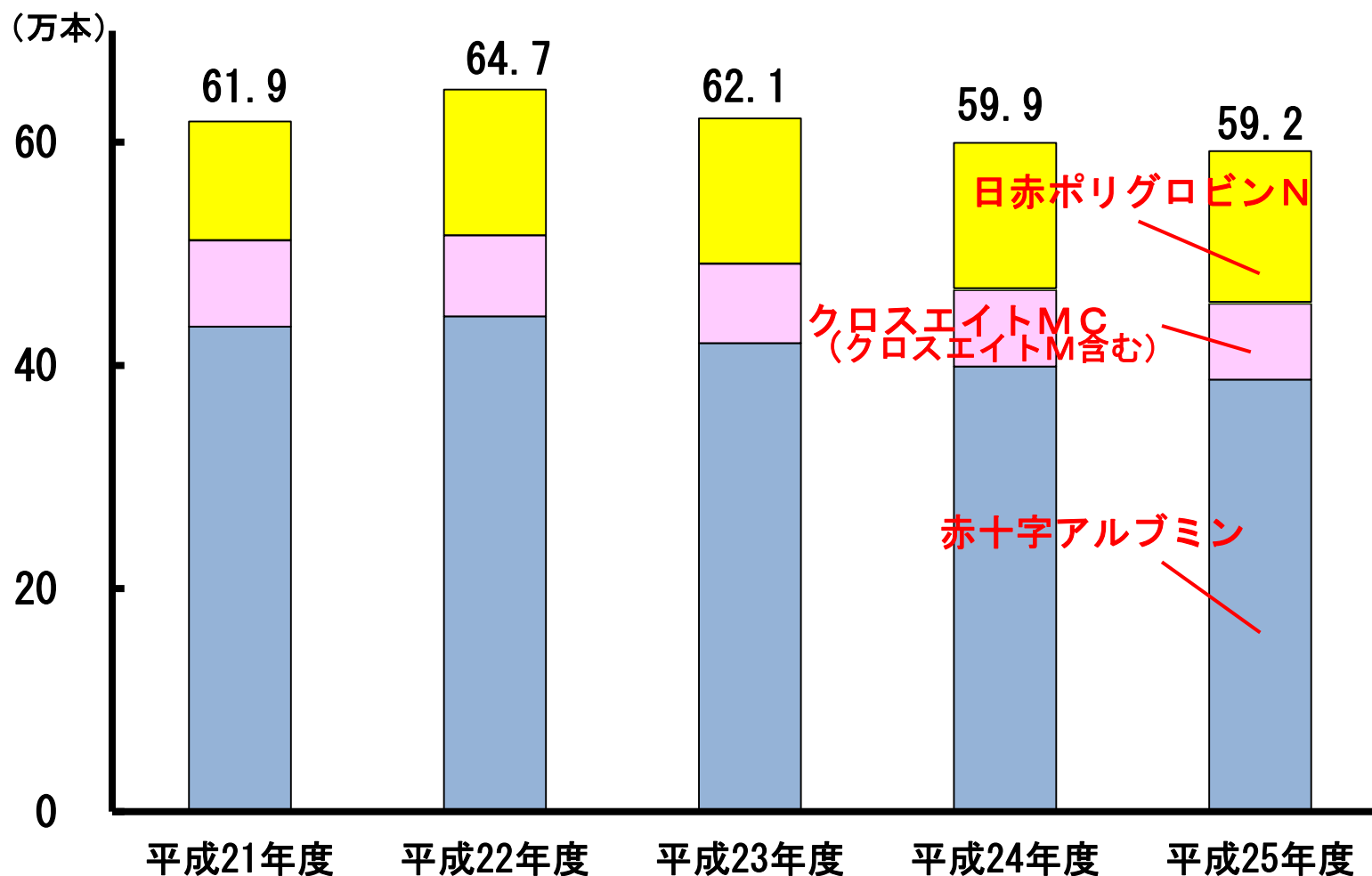
(参考)危機管理・災害対応

平成26年2月の大雪により交通網が途絶した際には、ヘリコプターを用いた血液搬送を実施。



ヘリコプターによる血液搬送（平成26年2月17日）

4. 血漿分画製剤の販売実績



日赤ポリグロビンN



クロスエイトMC



赤十字アルブミン

※日赤ポリグロビンN注5%は、2.5g/50mL換算

クロスエイトMC/Mは、1,000単位換算

赤十字アルブミンは、25%50mL換算

※抗HBs人免疫グロブリンは販売量が少量のためグラフ上に表示されません。

血漿分画製剤の国内自給率

アルブミン製剤 57.6%

グロブリン製剤 95.8% 11

5. 原料血漿の配分

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に定められた需給計画に基づき、国内製薬会社3社（一般社団法人 日本血液製剤機構、一般財団法人 化学及血清療法研究所、日本製薬株式会社）へ92万Lの原料血漿を配分。

6. 事業運営体制の充実

事業の効率化に向けて「血液事業情報システム」や「製剤自動化機器」を導入するための環境整備等の準備を実施。

7. その他

(1) 造血幹細胞提供支援機関とさい帯血バンク事業

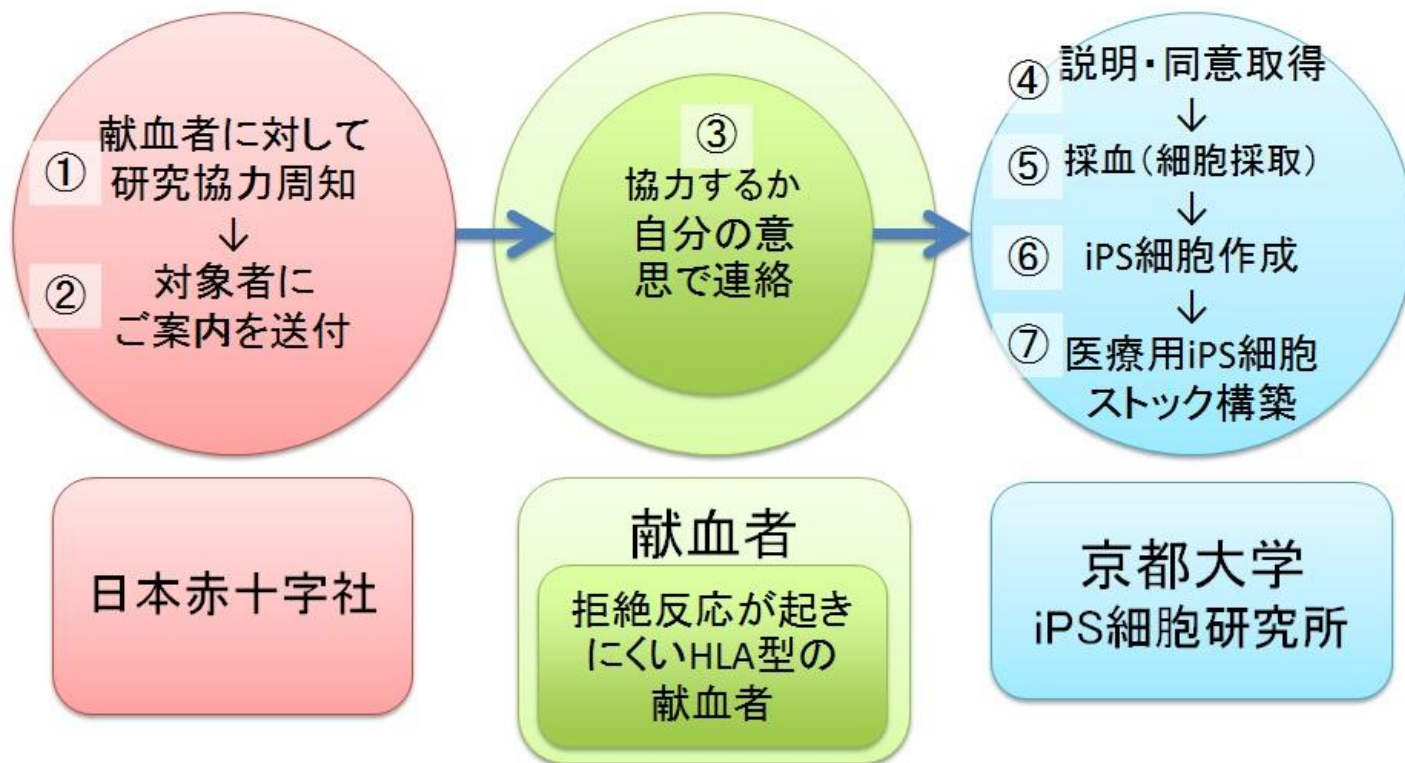
国内唯一の「造血幹細胞提供支援機関」として指定を受け、骨髄データセンター業務、移植用臍帯血の品質向上に向けた協力、事業普及活動等を実施。

北海道、関東甲信越、近畿、九州の各ブロック血液センターに設置されている「日本赤十字社さい帯血バンク」について、臍帯血供給事業の許可申請を国に提出し、平成26年4月1日から許可を受けた事業者として事業を運営。

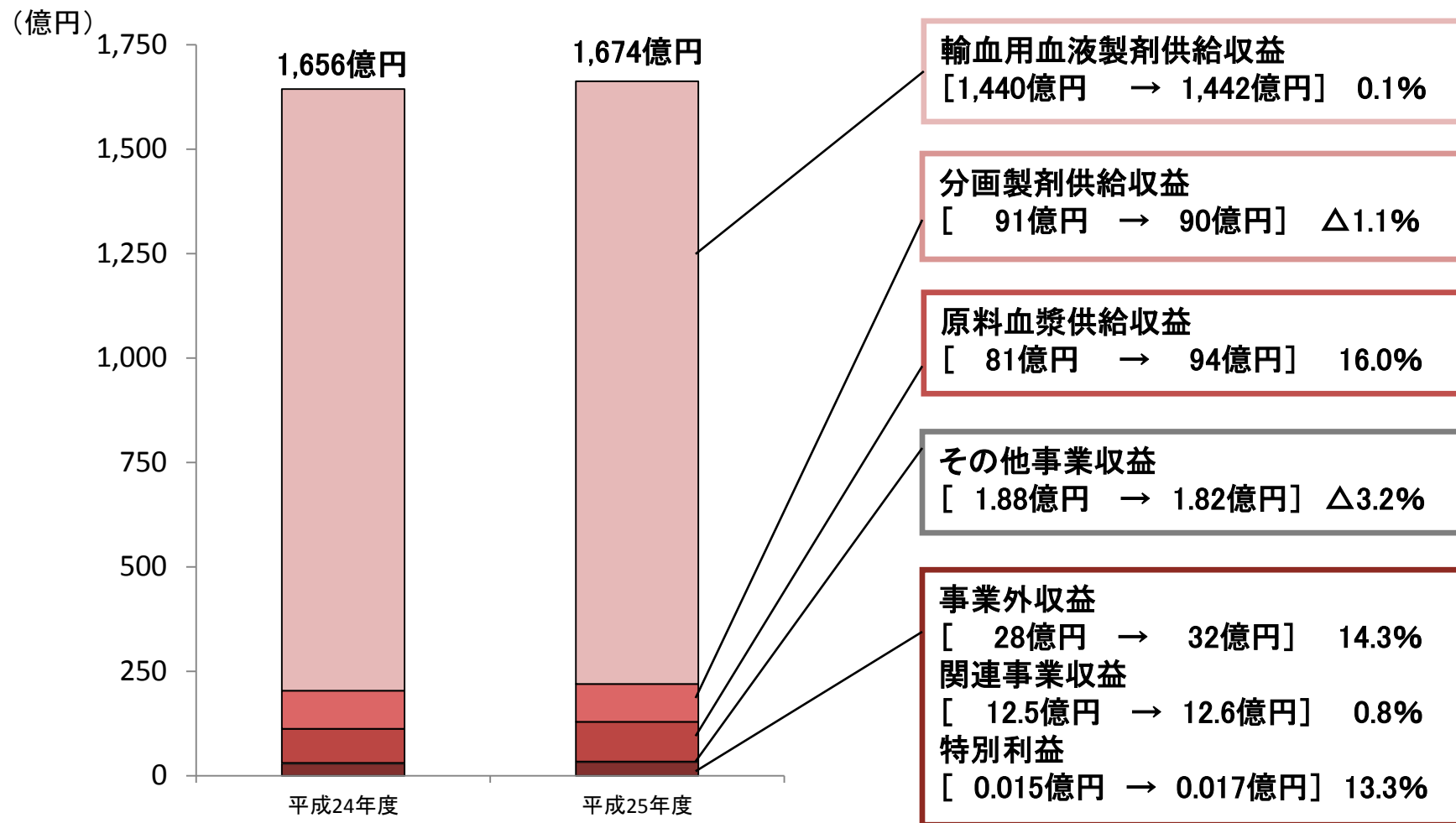
(2) 医療用iPS細胞ストック構築への協力

京都大学iPS研究所の依頼に基づき、医療用iPS細胞ストック構築に向けて、拒絶反応が起きにくいHLA型の組み合わせを持つ献血者に協力呼びかけを実施。

協力量イメージ

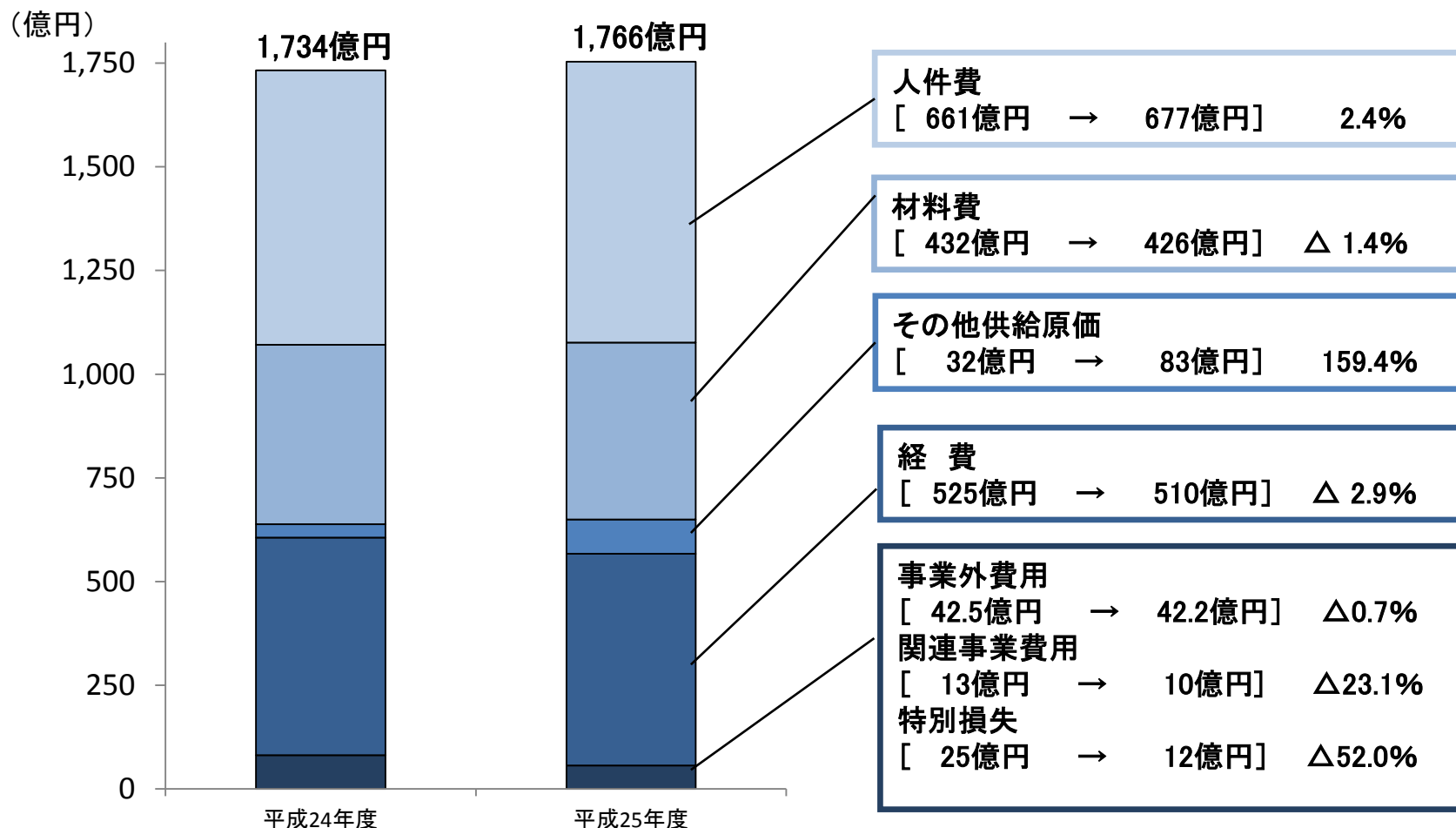


8. 血液事業特別会計収益的収入のあらまし



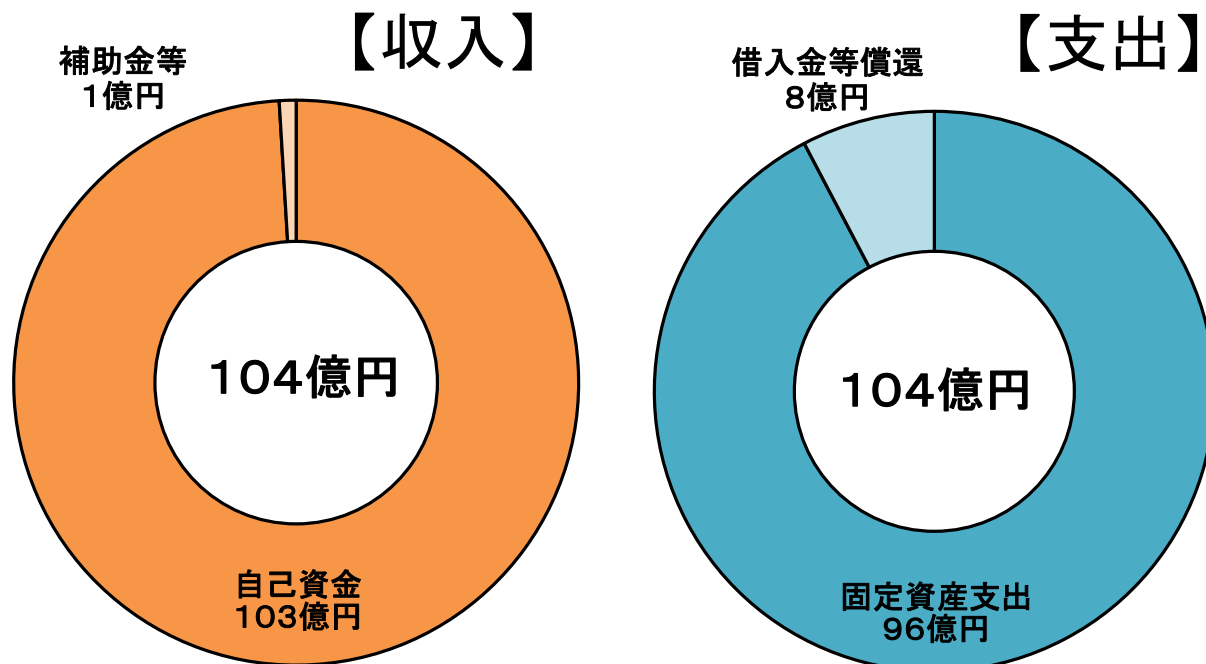
	平成24年度	平成25年度	増減率
収益的収入合計	1,656億円	1,674億円	1.1%

9. 血液事業特別会計収益的支出のあらまし



収益的支出合計	平成24年度 1,734億円	→	平成25年度 1,766億円	増減率 1.8%
収支差引額	△77億円	→	△91億円	

10. 血液事業特別会計資本的収支のあらまし



長野県赤十字血液センター



埼玉県赤十字血液センター
鴻巣献血ルーム

資本的支出

内 容	金 額
血液センター、献血ルーム、供給出張所の施設整備等	45億円
成分採血装置、血液保管庫などの整備	20億円
移動採血車、献血運搬車などの車両整備等	11億円
血液事業情報システム等	20億円
借入金等の償還	8億円

11. 収益的収支・資本的支出・減価償却費の推移見込み

(単位: 億円)

